



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 三信電気株式会社

コード番号 8150 URL <http://www.sanshin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (COO) (氏名) 鈴木 俊郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 財務本部長 (氏名) 御園 明雄 TEL 03-3453-5111

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	21,758	△19.7	△80	—	△61	—	△166	—
2020年3月期第1四半期	27,095	△7.8	247	—	218	—	△54	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △136百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △448百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△8.70	—
2020年3月期第1四半期	△2.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	70,790	40,830	57.6
2020年3月期	73,659	42,029	57.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 40,784百万円 2020年3月期 41,982百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	55.00	70.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	8.00	—	—	—

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

2 2021年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では業績予想が困難なことから記載しておりません。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	52,000	△21.7	400	△66.4	350	△68.7	300	△65.1	15.64
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

2 通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響及び主要な仕入先との特約店契約の解消による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから記載しておりません。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	24,281,373株	2020年3月期	24,281,373株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	5,101,110株	2020年3月期	5,101,110株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	19,180,263株	2020年3月期1Q	19,178,059株

(注) 期末自己株式数には、取締役（社外取締役を除く）を対象とする業績連動型株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式（2021年3月期1Q 136,700株、2020年3月期 136,700株）が含まれております。また、本信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2021年3月期1Q 136,700株、2020年3月期1Q 139,000株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であって、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大が企業の投資を含め様々な経済活動の停滞を招くなど急速に悪化し、その後各国において徐々に経済活動再開の動きが見られつつあるものの、極めて厳しい状況となりました。

当社グループの事業領域であるエレクトロニクス業界におきましては、半導体や電子部品の販売先である自動車関連市場が新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け低迷するなど厳しい状況となりました。また、国内のICT業界におきましては、企業におけるリモートワーク環境の整備に向けた投資が活発化する動きが見られましたが、東京オリンピック・パラリンピックの開催延期や景気後退に伴い、企業のIT投資は抑制傾向となりました。

このようななか、当社グループにおきましては、デバイス事業では主要仕入先であったルネサスエレクトロニクス株式会社との特約店契約の解消（本年6月末）に伴い、海外半導体メーカー製品の販売拡大に向けた人的リソースのシフトを進めるとともに、車載関連やAI/IoTを切り口とした新規商材やビジネスモデルの開拓に努めるなど、抜本的な収益構造の転換に努めました。ソリューション事業では将来に向けた収益基盤の確立を目指し、三信データセンターを軸にクラウド事業の強化に注力するとともに、顧客基盤数の拡大に向けた取り組みの強化にも努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は217億58百万円（前年同期比19.7%減）となり、損益面につきましても、販管費は減少したものの売上総利益の減少が影響し、営業損失は80百万円（前年同期は2億47百万円の営業利益）、経常損失は61百万円（前年同期は2億18百万円の経常利益）となりました。また、政策保有株式の一部を売却したことにより特別利益の計上があったものの、当第1四半期連結累計期間における賞与引当金等の帰属期間に伴い将来減算一時差異が減少し、繰延税金資産の一時的な取り崩しの影響を受けたことから、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億66百万円（前年同期は54百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、セグメント別の業績概況は次のとおりであります。

(デバイス事業)

デバイス事業におきましては、主にエレクトロニクスメーカー向けに半導体（システムLSI、マイコン、液晶ディスプレイドライバIC、メモリ等）や電子部品（コネクタ、コンデンサ、回路基板等）の販売に加え、ソフト開発やモジュール開発等の技術サポートを行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、前年同期に比べボリュームビジネスが減少したことに加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、顧客および仕入先における生産活動が停滞したことから、コアデバイス事業および戦略デバイス事業も減少し、売上高は193億64百万円（前年同期比19.2%減）となりました。損益面につきましても、販管費は減少したものの売上総利益の減少が影響し、セグメント損失は1億43百万円（前年同期は59百万円のセグメント利益）となりました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業では、ネットワーク機器やセキュリティ製品、基幹系業務システム、クラウドやデータセンターを組み合わせ、お客様毎に最適なICTインフラを提供しております。また、AI/IoT等の革新的な技術やクラウドネイティブにより進化し続けるテクノロジーにも対応し、設計や構築、運用保守まで一貫して行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響はデバイス事業に比べ軽微に留まったものの、総じて好調に推移した前年同期に比べ、全てのビジネス・ユニットで販売が減少したことから、売上高は23億93百万円（前年同期比23.5%減）となりました。また、損益面につきましても、売上高総利益率が向上したものの売上高の減少を補うには至らず、セグメント利益は82百万円（前年同期比48.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて28億69百万円減少し、707億90百万円となりました。これは主に未収消費税等の減少30億48百万円、売上債権の減少26億79百万円、商品の増加20億13百万円、現金及び預金の増加7億6百万円等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて16億70百万円減少し、299億59百万円となりました。これは主に仕入債務の減少23億66百万円、短期借入金の増加7億円等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて11億99百万円減少し、408億30百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少12億29百万円、為替換算調整勘定の減少67百万円、その他有価証券評価差額金の増加93百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大の影響は、依然として不透明感が強く、先行きに対する見通しは立てづらい状況ではありますが、緊急事態宣言が解除され経済活動が再開しつつあることから、当社グループの第1四半期連結累計期間までの業績進捗と、現時点で入手可能な情報をもとに、今まで未定としておりました2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想を下記の通り公表いたしました。

しかしながら、2021年3月期通期の業績予想につきましては、今後の新型コロナウイルスの感染状況やそれに伴う各国の対応措置状況等により、当社グループ業績への影響が大きく変動することから、引き続き公表を見送ることとし、業績予想の合理的な算定が可能となり次第、開示いたします。

また、配当につきましては、当社は連結配当性向50%を目処とし、株主の皆様への利益還元、成長機会獲得のための投資、持続的な成長を可能とする内部留保、資本効率の向上、これらのバランスを考慮して決定することを基本方針としております。この方針に基づき、今まで未定としておりました2021年3月期第2四半期末配当予想につきましては、第2四半期(累計)連結における親会社株主に帰属する四半期純利益の予想額を基準に下記の通り公表いたしました。一方、期末配当予想につきましては、通期業績予想と併せて決定し、開示する予定です。

詳細は本日公表の「業績予想及び配当予想の公表に関するお知らせ」をご覧ください。

(2021年3月期第2四半期連結業績予想)

売上高	520億円
営業利益	4億円
経常利益	3億50百万円
親会社株主に帰属する四半期純利益	3億円
第2四半期末配当	1株当たり8円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,443	19,149
受取手形及び売掛金	24,074	21,393
電子記録債権	4,317	4,318
商品	16,165	18,178
半成工事	0	16
その他	4,572	1,654
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	67,566	64,704
固定資産		
有形固定資産	2,631	2,686
無形固定資産	489	467
投資その他の資産		
その他	3,006	2,966
貸倒引当金	△35	△34
投資その他の資産合計	2,970	2,931
固定資産合計	6,092	6,085
資産合計	73,659	70,790
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,039	11,673
短期借入金	14,953	15,654
未払法人税等	162	92
引当金	512	231
その他	1,294	1,642
流動負債合計	30,962	29,292
固定負債		
退職給付に係る負債	352	339
その他	314	327
固定負債合計	667	666
負債合計	31,629	29,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,811	14,811
資本剰余金	5,329	5,329
利益剰余金	32,676	31,447
自己株式	△10,353	△10,353
株主資本合計	42,464	41,235
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	338	431
繰延ヘッジ損益	1	△0
為替換算調整勘定	△701	△768
退職給付に係る調整累計額	△120	△113
その他の包括利益累計額合計	△482	△451
非支配株主持分	46	46
純資産合計	42,029	40,830
負債純資産合計	73,659	70,790

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	27,095	21,758
売上原価	24,586	19,732
売上総利益	2,508	2,025
販売費及び一般管理費	2,261	2,105
営業利益又は営業損失(△)	247	△80
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	15	15
為替差益	57	12
その他	24	18
営業外収益合計	105	51
営業外費用		
支払利息	89	19
売上割引	3	1
その他	42	11
営業外費用合計	135	32
経常利益又は経常損失(△)	218	△61
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	17	56
特別利益合計	17	56
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	235	△4
法人税、住民税及び事業税	65	59
法人税等調整額	226	104
法人税等合計	291	163
四半期純損失(△)	△56	△167
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△54	△166

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△56	△167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28	93
繰延ヘッジ損益	40	△2
為替換算調整勘定	△402	△67
退職給付に係る調整額	△1	6
その他の包括利益合計	△391	30
四半期包括利益	△448	△136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△446	△135
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

- I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	デバイス事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	23,965	3,130	27,095
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	23,965	3,130	27,095
セグメント利益	59	158	218

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	デバイス事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	19,364	2,393	21,758
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	19,364	2,393	21,758
セグメント利益又は損失(△)	△143	82	△61

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常損失と一致しております。